

# コンクリートテスター CTS-02

1台で表面の劣化・剥離の測定、強度の推定を実現  
計測時間2秒、コンクリート面をハンマーで叩くだけ

NETIS掲載期間終了技術  
HK-060013-V



- 従来のハンマータイプの非破壊検査装置に比べ格段に高精度
- パソコンでデータを出力・加工できるので、報告書の作成も容易
- 簡単かつスピーディな測定方法で現場の作業を効率化

CTS-02は以下のような状況で活用することができます。

- 完成検査・中間検査（新設構造物）
- 補修・補強工事の状態確認（着工前と完成後）
- 一斉緊急点検（災害発生後など）
- 健全性診断（既設構造物）
- 詳細調査・補修箇所の絞り込み

## 測定方法

ハンマーで表面を軽く打撃するだけで、測定結果の数値がすぐに表示されます。1回の測定時間は約2秒で連続的に測定ができます。

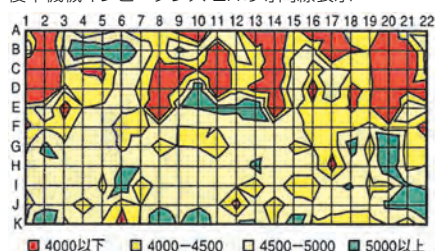
### 1.コンクリートの強度推定

測定範囲（100mm×100mm）を設定し、その面積内で約30回の打撃を行い、平均値を推定値とします。コンクリートの種類をあらかじめ登録すると、推定強度が表示されます。

### 2.剥離・表面劣化の検知

調査対象区間をブロックに分けて打撃します。測定点間の距離を一定としておくと、パソコン上の処理により、強度情報の分布状態を等高線表示できます。

後半機械インピーダンス ZRの等高線表示



## 装置の能力

- 1.乾電池によって8時間以上の連続測定（最大14時間）
- 2.測定数は、本体内部メモリーに、128MB容量で3万データを記録
- 3.打撃と同時に測定データの指標値（強度・剥離・劣化）をモニターに表示
- 4.測定データに異常があった場合（剥離・劣化）は、ピープ音で判定結果を通知
- 5.計算されたデータは、波形情報と一緒にメモリーに記録
- 6.測定データはUSBケーブルにてパソコンへデータ転送
- 7.測定結果、波形データはともにエクセルのファイルで出力、データ加工やレポート作成が可能
- 8.ノートパソコンよりも小型軽量化を図り、現場測定に最適



## 仕様

本体108×169×42mm / 連続使用時間 8時間以上 / サンプルング速度 0.5μs / 測定時間長 2ms